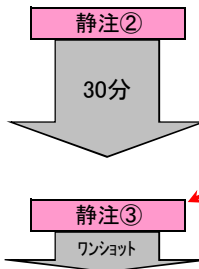
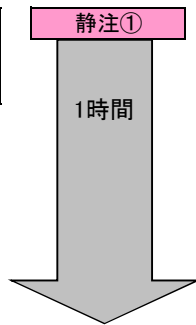


ID:											施行日		クール	
患者氏名	殿										(New FP【外来】) 療法			
年齢 性別			入院/外来			入力日	年	月	日					
疾患名											開始日	年	月	日
クール	週 投与		週 休薬		診療科									
	備考 2週毎				医師名									
適応基準	<input type="checkbox"/> 1st Line <input type="checkbox"/> 2nd Line <input type="checkbox"/> 3rd Line以降 <input type="checkbox"/> 術前 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input type="checkbox"/> 進行 <input type="checkbox"/> 再発					告知の有無	P S		同意書取得		<input type="checkbox"/> 済			
	<input checked="" type="checkbox"/> Low dose FP療法がfailureになった症例					身長	cm	体重	kg	体表面積	0.00	m ²		
薬品名	単位	薬品名	単位	薬品名	単位	外来化療加算		<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> 対象外						
シスプラチン注 (CDDP) (商品:アイエーコール) 20	<input type="checkbox"/> mg/m ² <input checked="" type="checkbox"/> mg/body	5-FU注 (持続動注) 750	<input type="checkbox"/> mg/m ² <input type="checkbox"/> mg/body		<input type="checkbox"/> mg/m ² <input type="checkbox"/> mg/body									
※アイエーコール注は当院未採用薬のため、「緊急医薬品使用届」の提出が別途必要です。						緊急医薬品使用届の提出		<input type="checkbox"/> 済						
重要	B型肝炎の再活性化 (de novo B型肝炎) 対策として、右記の検査が未実施の場合は、全例スクリーニング対象となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。										<input type="checkbox"/> HBs抗原 <input type="checkbox"/> HBs抗体 <input type="checkbox"/> HBc抗体			
	※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。													
	レジメン内容													

静注①(メイン) D.I.V.		
アミファーゲンP注 (20mL)	2	A
ソルデム1 (500mL)	500	mL



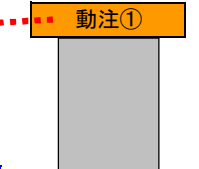
静注②(側管) D.I.V.	
グラニセロン点滴静注 (3mg/100mL)	1 袋

※動注①の直前(CDDP投与直前)

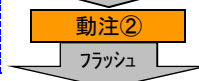
静注③(側管) I.V.	
ソルメルコート注 (125mg)	1 A
生食液 (20mL)	20 mL

注意事項:
 動注①部分のアイエーコール注の混注作業は医師によって行うものとする。
 ※薬剤師は払出しのみとする。

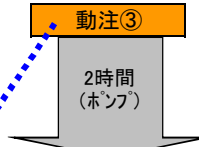
- ①まずアイエーコール50mg/vlにオムニバー75mLを加え懸濁させ、2mL (20mg分)を使用する。
- ②約50℃の温浴にて攪拌する。
- ③リピオドールと共にSuspensionする。



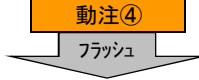
動注① I.A.	
シスプラチン注 (CDDP) (商品:アイエーコール)	20 mg
オムニバー7240 (10mL/v)	2 mL
リピオドール	 mL



動注② I.A.	
生食液 (20mL)	20 mL



動注③ I.A.	
5-FU注 (250mg)	750 mg
生食液 (20mL)	 mL
※シリンジポンプを使用	



動注④ I.A.	
ヘパリン注 (1000u/mL)	5 mL

	1Kur目	2Kur目	3Kur目
Day	1	8	15
	22	29	36
CDDP	↓	↓	↓
5-FU	↓	↓	↓

注射シリンジにて払い出しを行う
 ※液漏れ防止のため、①キャップをし、②チャック付ポリ袋に入れて払い出すこと

注意事項など
 入院による2コースの動注化学療法が終了した症例で1次効果判定 (PR以上を仮基準) の後、可能であれば退院し、外来肝動注化学療法に移行する。
 退院から3~14日以内に第1回目の治療を開始し、2週間毎に実施する。

確認者 (薬剤師)	監査者 (薬剤師)